

福井市自立支援協議会 こども部会 課題提起シート

課題提起者名（所属）

こども部会事務局

課 題	<p>※「～が必要である。」という書き方にしてください。</p> <p>普通高校において、障がいの有無にかかわらず、就職先を機会均等に選べる必要がある。</p>
概 要 及 び 現 状	<p>【概要】</p> <p>普通高校に通う発達障がいのある生徒と保護者が一般就労を希望するも、学校は寄り添ってくれず、就労継続支援B型利用の選択しか提示してくれなかった。</p> <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道守高校3年の自閉傾向のある生徒、保護者が一般就労を希望。 ・2年生の時に、就職説明会や見学会を希望したが、学校より生徒の一般就労は無理だと言われ、見学申し込みも対象ではないと対応してくれなかった。 ・3年生になり、学校からは就労継続支援B型しか紹介できないと言われた。 ・ヤングハローワークに相談したが、就職先はなく、学校に相談するように言われた。
改 善 の 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい特性があることで福祉サービスの利用を前提とするのではなく、本人や保護者の意向に寄り添い、特性や意向に合わせた一般就労も含めた就職先を選択できる環境を作る。 ・担任等が生徒達的意思決定支援について理解を深める。
具 体 的 な 取 組 内 容	<p>【取組内容】</p> <p>普通高校に通う障がいのある生徒に対し、学校が就労選択の機会を均等に持ち、意向に寄り添った支援が出来るよう、高校教育課に支援を検討してもらう。</p> <p>担任等が生徒達的意思決定支援が行えるよう周知や研修の機会があると良い。</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通高校における障がいのある生徒の就労選択が生徒本人や保護者に寄り添ったものになる必要があるため。 ・担任等が生徒達的意思決定支援の必要性や方法を正しく理解し、支援できる必要があるため。
期 待 さ れ る 効 果	<p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通高校に障がいのある生徒への支援の質が均等に保たれる ・こども達が就労選択における意思決定ができるようになる